

# 5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第8時(9時間取り扱い)

ひし形の面積を求める  
見通しを持つことができる!

## 本時の授業の概要

既習の求積方法をもとにひし形の面積を求める発展学習である。ひし形の面積を求める考え方を公式にまとめ、面積を求められるようになるとともに、面積の学習をより深める。

## 本時の目標

ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ることができる。

## 活用場面

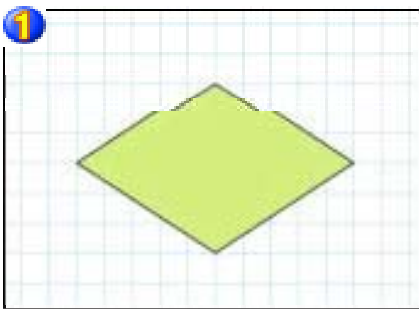
課題発見

**見通し**

一般化

まとめ

習熟



ひし形をどのように変形したら面積が求められるか考える。

① T : ひし形の面積を工夫して求めましょう。

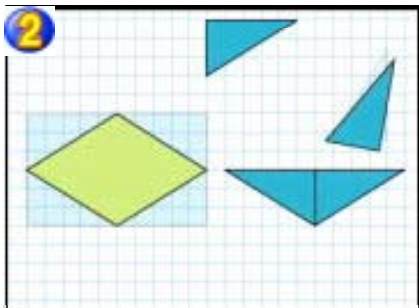
T : ひし形をどんな形に変形すれば面積を求めることができるでしょうか。

C : 三角形・長方形・平行四辺形。

T : どうすれば、長方形にすることができますか。

C : ひし形のまわりを囲みます。

ひし形の面積を求める公式を考える。



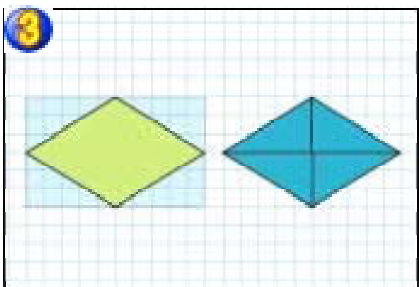
②③ T : 求めるひし形の面積は、長方形の面積のどれだけになりますか。

C : 半分です。

T : 半分にするためには長方形の面積をどうすればよいですか。

C : 長方形の面積を2でわればよい。

T : そのことを言葉の式であらわすと、公式を作ることができますね。



## 【ワンポイントアドバイス】

最後までデジタルコンテンツを見せてしまうのではなく、途中で止めながら、児童にどんどん発言させ、発見する喜びを味わわせたい。

すべての児童に見せるのではなく、見通しの持てない児童だけに見せることも1つの方法である。

求めるひし形の対角線は、ひし形のまわりを囲む長方形のたてと横の長さと同じであることを確認したい。

## 【サイト情報】

[http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es\\_02/S22.mpg](http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_02/S22.mpg)  
「算数・数学の思考過程をイメージする動画素材集」